

平成18年12月30日

各都道府県小学生バレーボール連盟
理事長・審判委員長各位

日本小学生バレーボール連盟
理事長 村岡 公夫
競技委員長 大久保 裕二
審判規則委員長 山田 道人

チーム役員（監督・コーチ・マネージャー）のベンチでの 行動（マナー）に関する取扱いについて

標記の件について、日本小学生バレーボール連盟審判規則委員会において、下記の通り
取り扱いについて確認致しました。

またサントリーカップ全日本小学生大会では、別紙のとおり国際大会及びプレミアリー
グで使用されているコートレイアウトを採用いたします。関係各位におかれましては、チ
ームの指導者・審判員にご周知下さいますようお願い申し上げます。

記

1 取り扱いについて

監督を含むチーム役員は、ベンチに座っている限りコート上の競技者に対し指示を
出すことが許されます。また、監督は試合を妨害したり、遅延しない限り、アタック・
ラインの延長線からウォーム・アップ・エリアまでのフリー・ゾーンの範囲内では、
立ったまま、あるいは歩きながらコート上の競技者に指示を与えることができます。
ただし、国内大会においては、ラリー中はベンチに座っていなければなりません。

監督がコートもしくはウォーム・アップ・エリアに近づく主たる目的は、コート上
の競技者に対して、競技に必要な指示を与える為であることを理解して行動してくだ
さい。このことはみだりに監督が立ちあがりたりする行為を許容するものではありません。
過度に目的から逸脱した行為に対しては、競技規則 第22条によって処置しま
す。監督を含めベンチスタッフが、自然発生的に喜びを表す表現として偶発的に立ち
あがりたりする行為は、許容範囲です。しかし監督以外のチーム役員（選手）が毎回
のように立ちあがりたり、あるいはベンチから数歩前に出たりする行為は、ルール違
反です。また、監督がコート上の競技者等とハイ・タッチや**飛んだり跳ねたりする行
為、相手を威嚇する行為**等もルール違反となります。

2 コートレイアウトについて

別紙参照

コーチング・ライン寸法図

< 別紙 >

